東日本大震災から3年

～日ごろの備えはできていますか～

平成23年3月11日に発生し、未曾有の被害をもたらした東日本大震災。
震災からまもなく3年が経過します。
家族や地域で「支えあう心『絆』の大切さ」「災害への備え」についてもう一度、考えてみましょう。

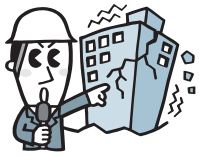
問　危機管理対策室　☎内線241

近年、日本の各地で毎年、様々な災害が発生しています。災害といっても、地震・津波はもちろん、暴風、高潮、豪雨、洪水、土砂崩れ、火災、竜巻、落雷、噴火など多岐に渡ります。

災害はいつ起こるかわかりません。いざという時に慌てないように、あらかじめ家族や身近な人と話し合っておきましょう。

『地震』が発生！

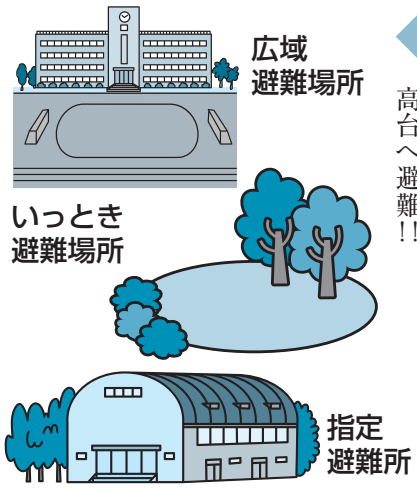
『あわてず』
『冷静』に行動



●まず自分の身を守る（シェイクアウト）
・安全な空間に身を寄せる
・座布団などで頭を守る

●落ち着いて行動する
・揺れがおさまったら火元の確認、初期消火
・窓や戸を開けて出口確保
・家族の安全確認

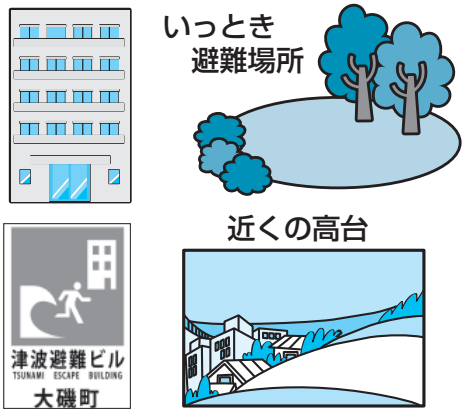
●避難の際には
・隣近所に声をかけて安全確認、救出救助
・海や川の近くの低地ではすぐに高台へ避難!!



『大津波警報』が発表！

『あわてず』に
『直ちに高台』へ

●まず自分の身を守る（シェイクアウト）
・地震の揺れから身を守る

●落ち着いて行動する
・揺れがおさまったら情報収集
・海や川の近くの低地ではすぐに高台へ避難!!

●避難の際には
・津波警報等が解除になるまでは、低い場所へ移動しない
・避難の際に自動車を使わない